

宇和島市立吉田病院

第6回 病院機能等改編計画策定委員会

住民説明会事前資料

2019年1月23日



よい医療は、よい経営から

総合メディカル株式会社

- 1. 宇和島市立吉田病院を取り巻く環境**
- 2. 策定委員会による検討事項**
- 3. 宇和島市立吉田病院来院患者の現状**
- 4. 歯科部門の現状**
- 5. 策定委員会による協議のまとめ**
- 6. 改築後の宇和島市立吉田病院イメージ**
- 7. 収支の推移**

1. 宇和島市立吉田病院を取り巻く環境



【新館】 H12年3月竣工、築18年 4階 48床

【中館】 S40年11月施工、築52年 2階 16床

【南館】 S56年2月竣工、築42年 4階 80床



中棟および南棟については老朽化により、今後の使用が難しくなります

■ 建物の老朽化

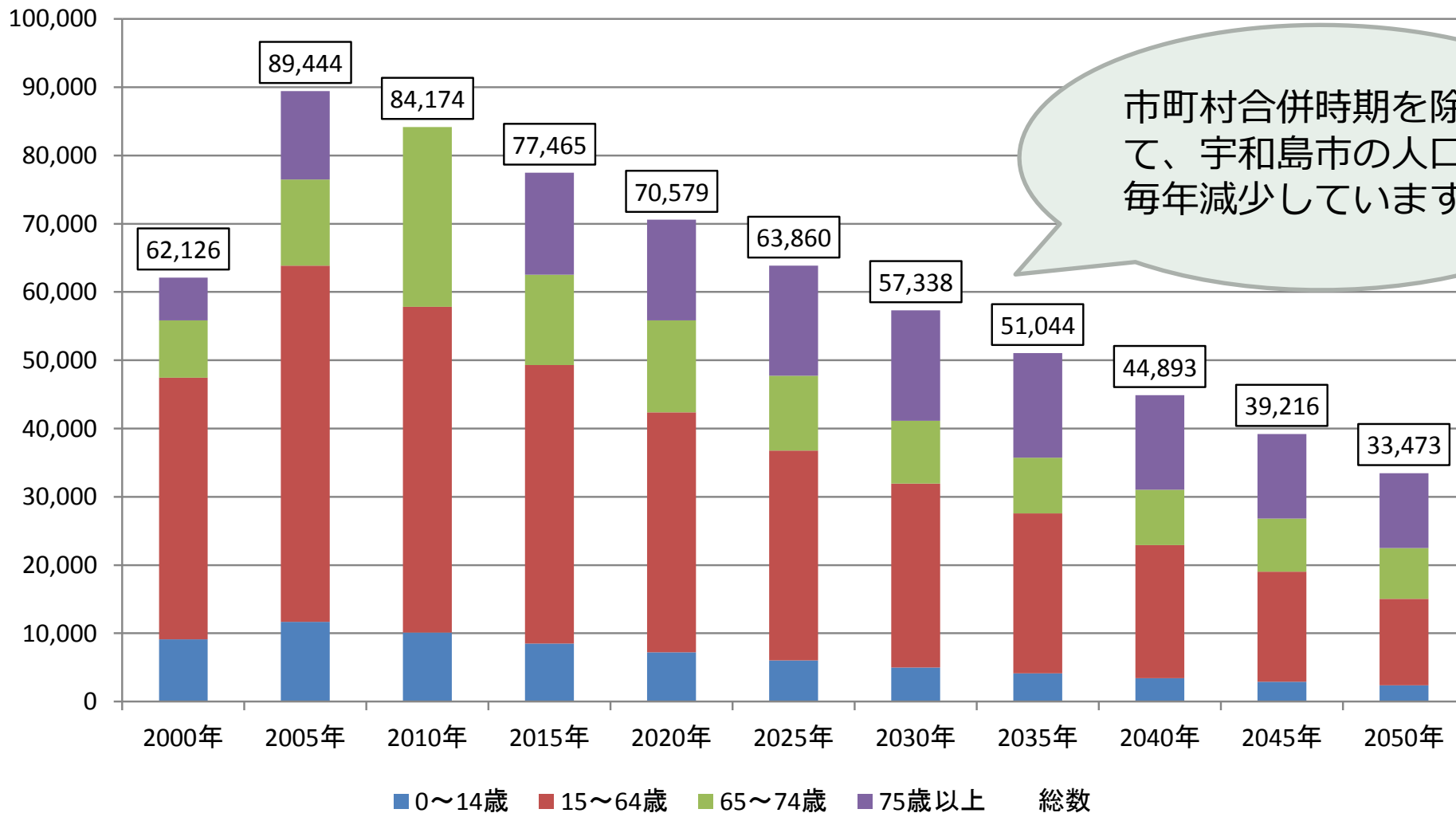
→耐震基準を満たしていない、
雨漏り、密閉性不足、
施設基準との不適合

■ 設備等の陳腐化

→給排水系、冷暖房装置、
エレベーター

■宇和島市人口推移

単位：人



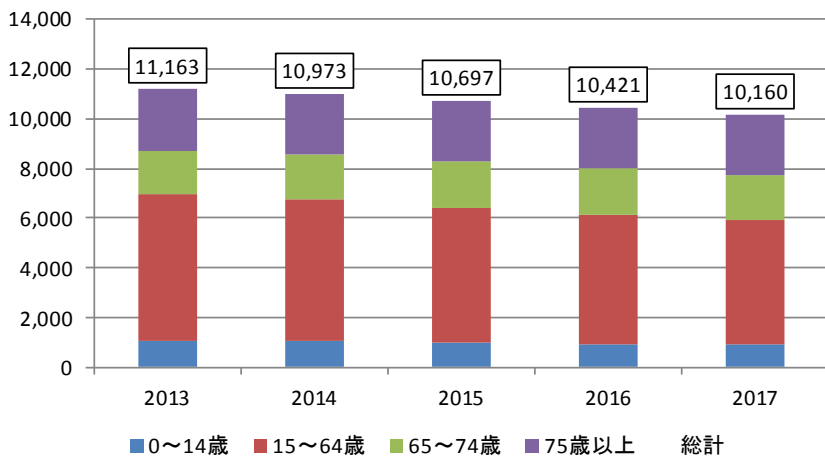
出典：国立人口問題研究所データ

※2010年データは、年齢が3区分のみの記載であるため、65歳以上でまとめて記載。

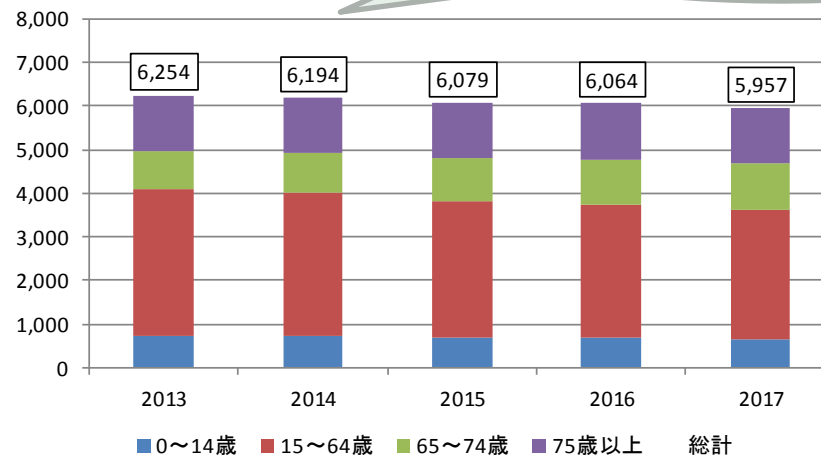
※2050年データは、対2000年比における2035年から2040年の減少率で算出。

各町の人口は毎年減少
しています

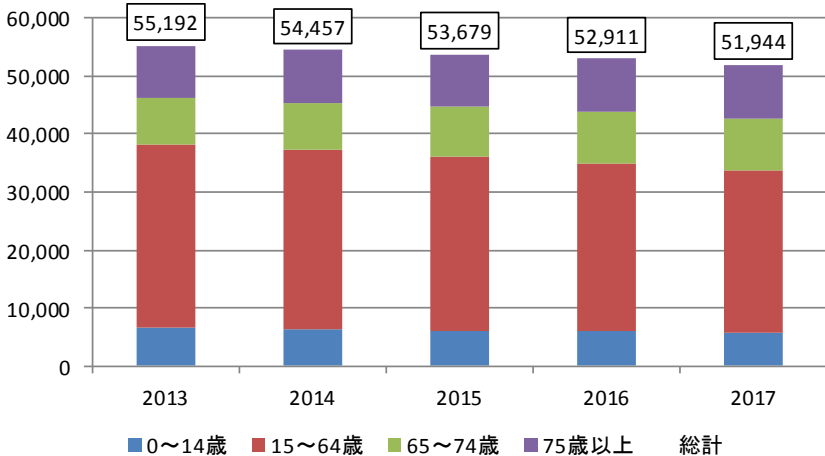
■旧吉田町



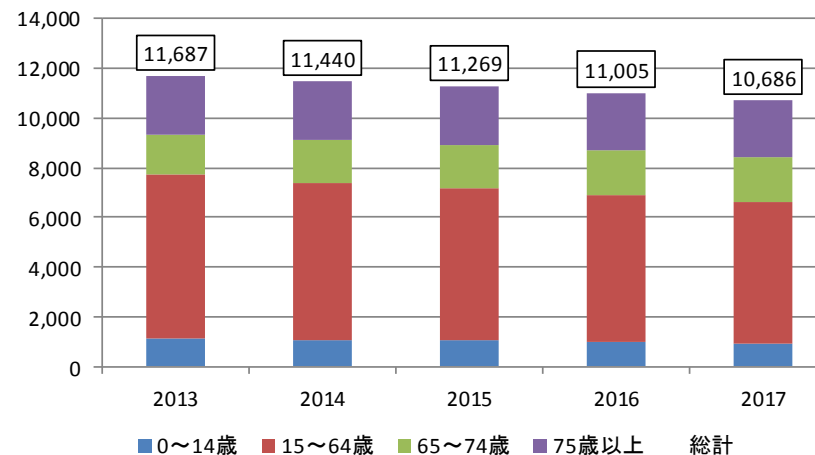
■旧三間町



■旧宇和島市



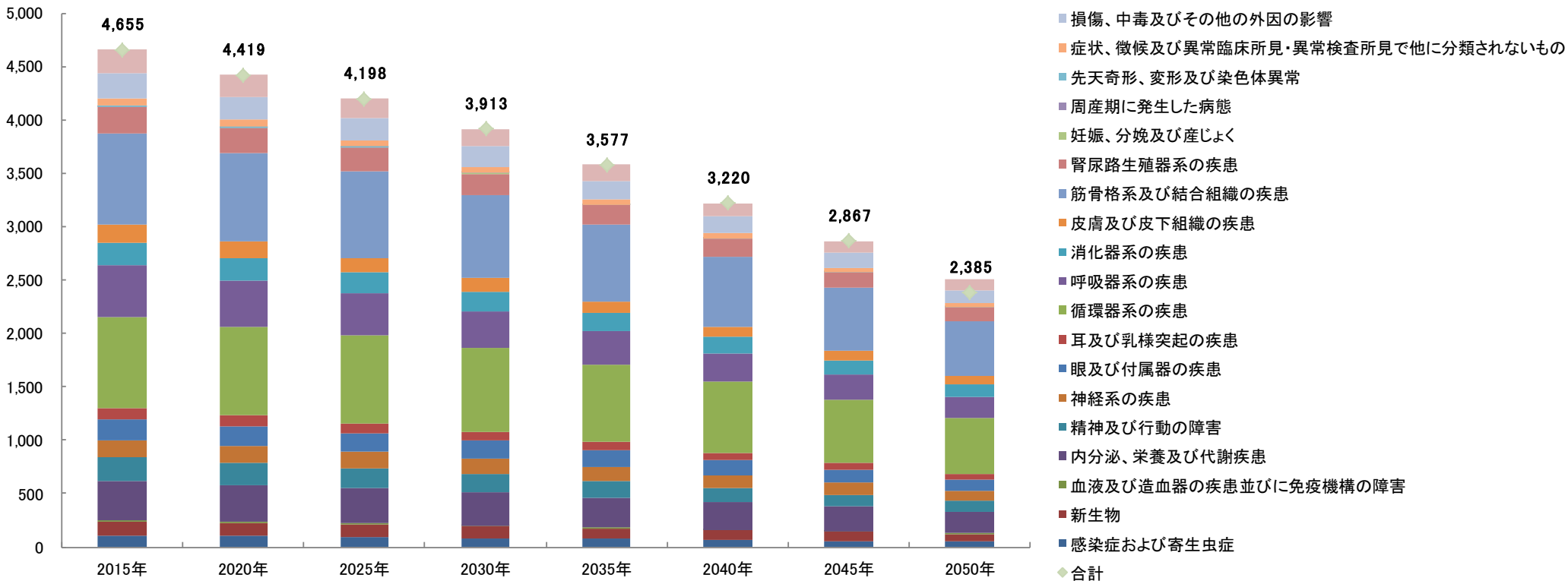
■旧津島町



単位:人

外来患者数は2050年には現在の半分になる見込みです

1日あたり推計外来患者数



入院患者数は減少しますが、
外来患者数よりは緩やかに
減少していきます

1日あたり推計入院患者数

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

2015年

2020年

2025年

2030年

2035年

2040年

2045年

2050年

1,272

1,227

1,218

1,168

1,084

980

875

729

単位：人

- 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 周産期に発生した病態
- 妊娠、分娩及び産じょく
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 消化器系の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 循環器系の疾患
- 耳及び乳様突起の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 神経系の疾患
- 精神及び行動の障害
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害
- 新生物
- 感染症および寄生虫症
- 合計

2. 策定員会による検討事項



当院が地域医療において果たすべき役割は何か？



当院の病床数などの規模は適正か？



当院が選択すべき病床機能は何か？



当院が継続していくために必要なことは何か？



地域住民が当院に求めているものは何か？

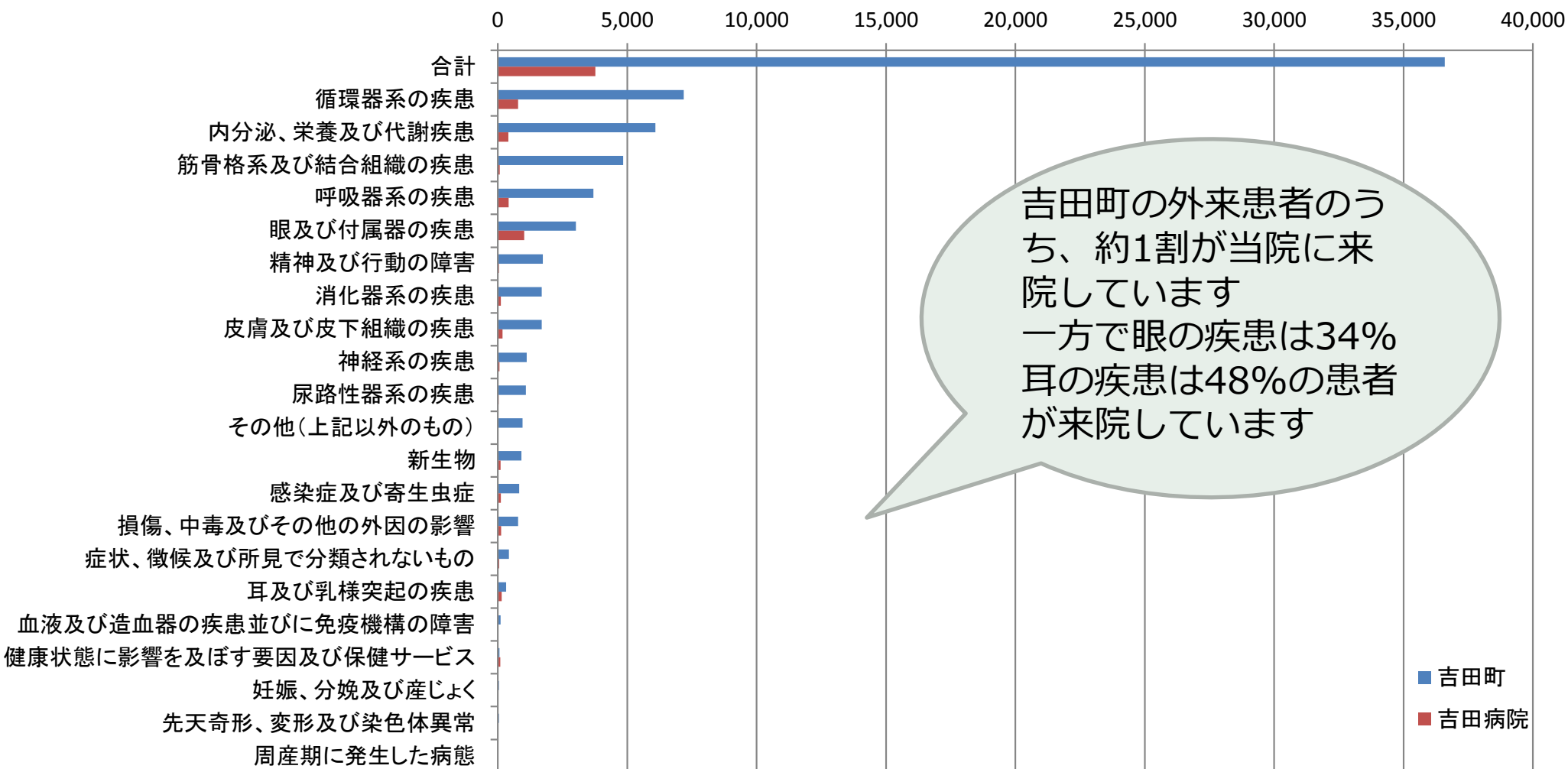


宇和島市立の3病院の1つとして求められる役割は何か？

3. 宇和島市立吉田病院来院患者の現状

■平成29年度吉田町患者・当院外来患者レセプト件数比較

(単位: 件)

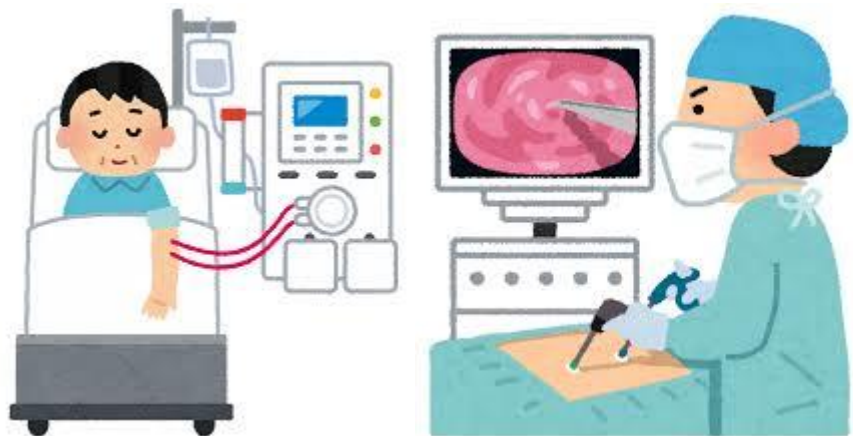


■ 平成29年度吉田町患者・当院入院患者レセプト件数比較

(単位: 件)



高度急性期



緊急の治療が必要な患者に対し、状態の早期安定化に向けて、様々な検査、高額な医薬品、手術などを提供するより手厚い診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期



患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
高度急性期に比べると、診療密度が高く
ない医療があてはまる

回復期

当院が該当



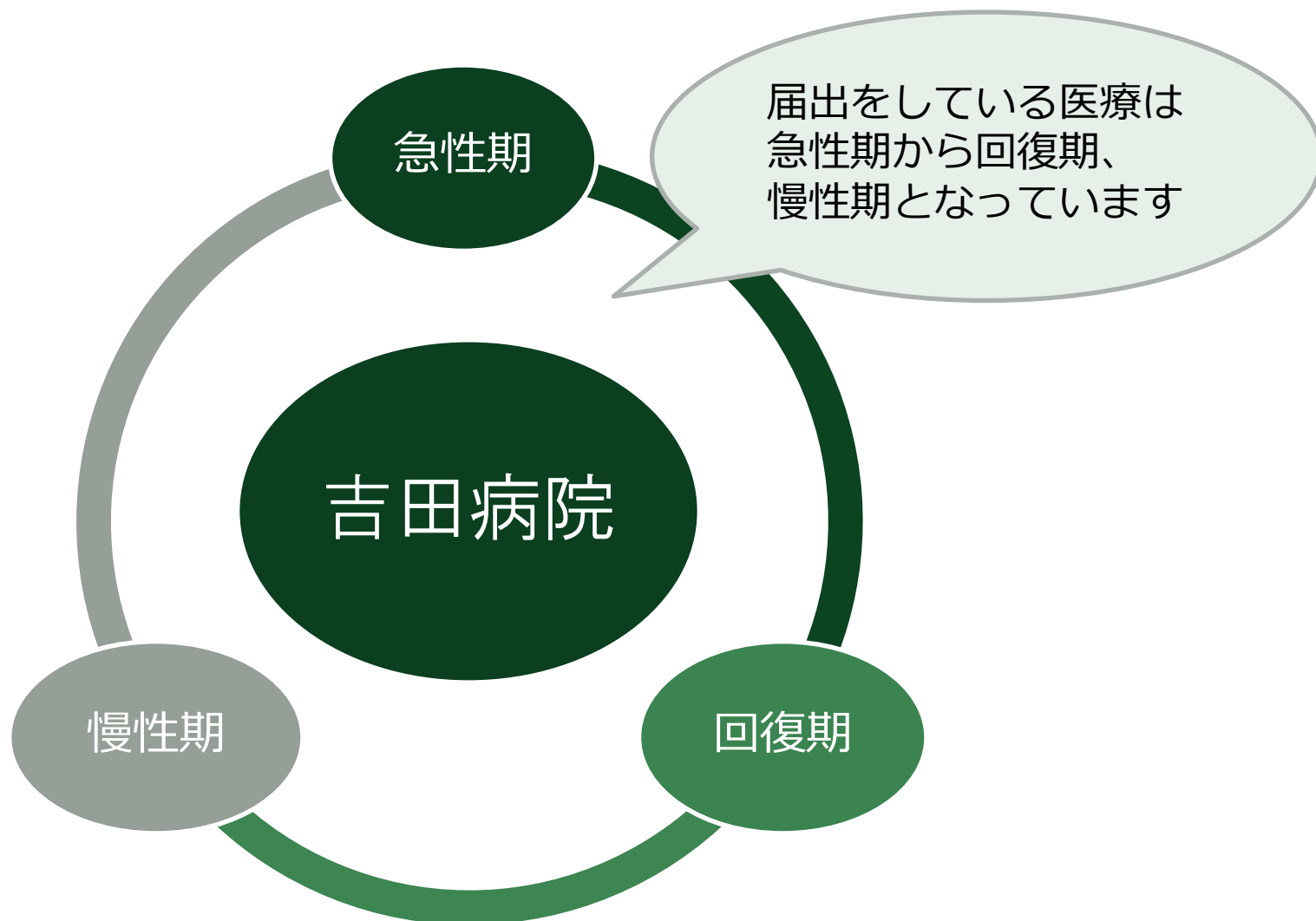
急性期を経過した患者に対して、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能

慢性期

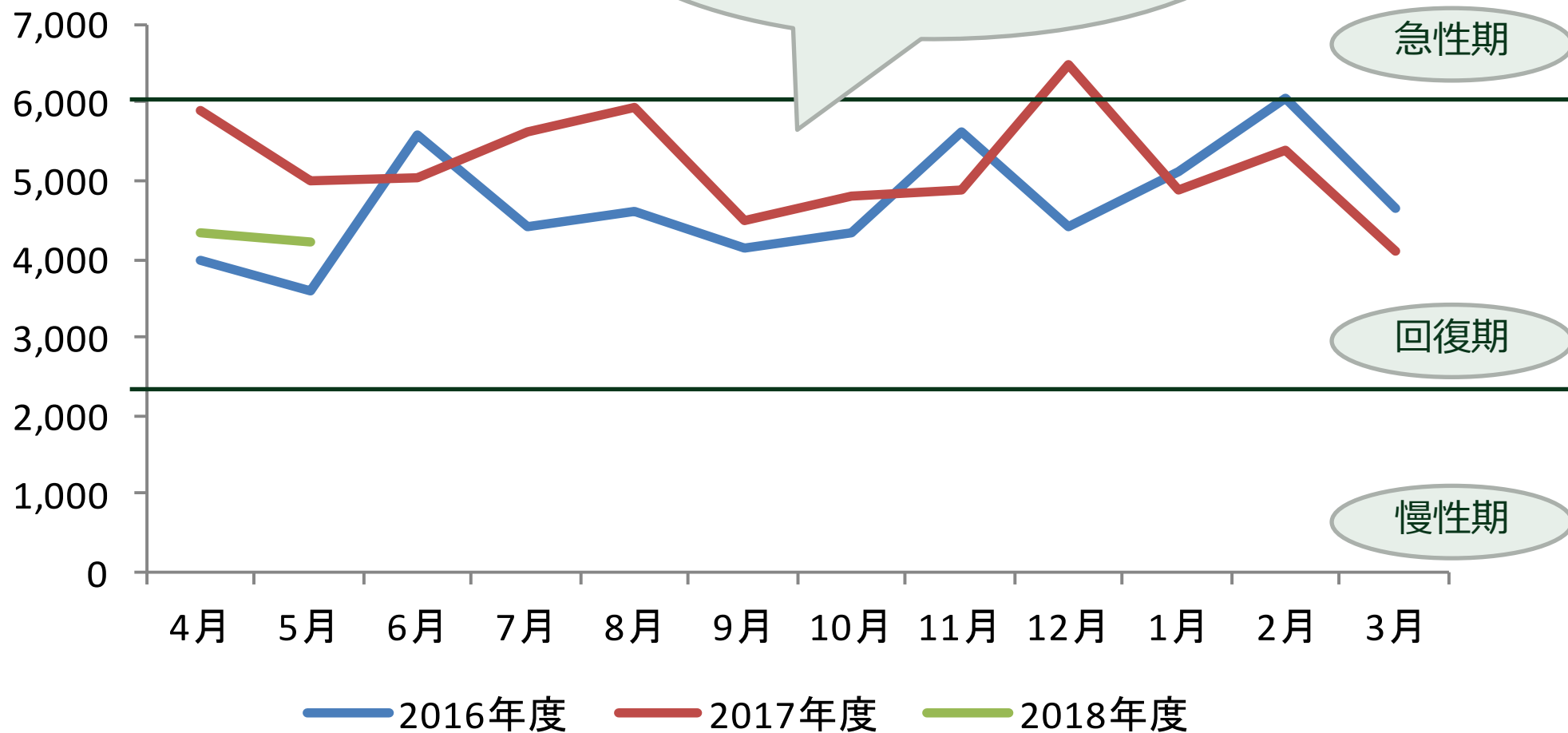
当院が該当



長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能
また、医学的な理由で退院困難な患者や長期にわたり療養が必要な重度の障がい者、難病患者等を入院させる機能

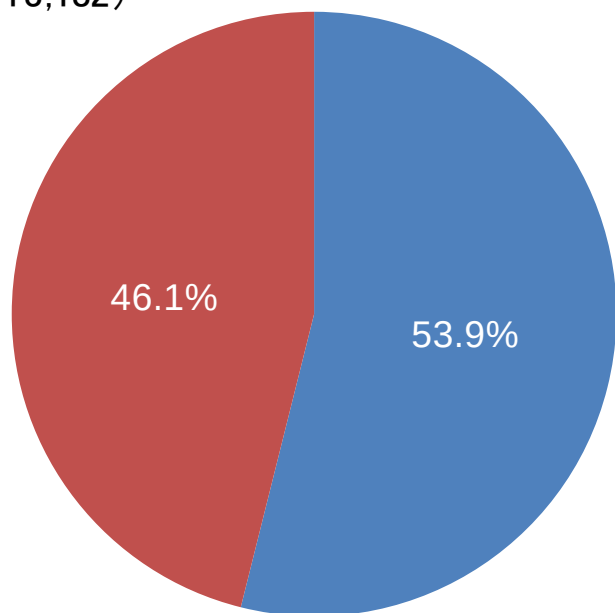


■一般病棟医療資源投入量推移

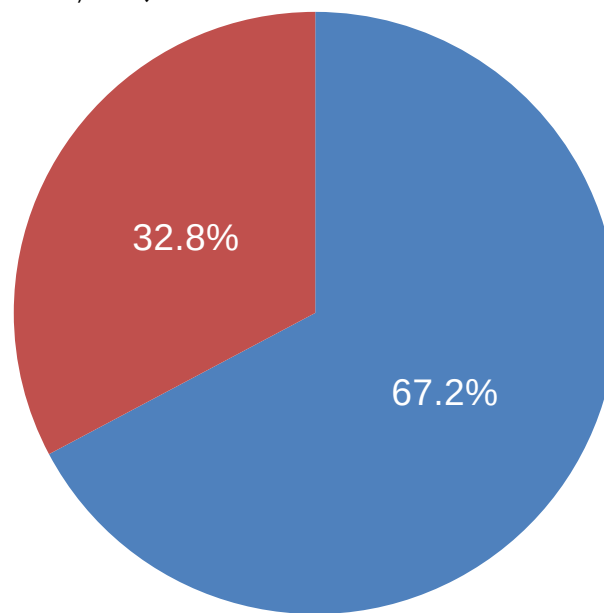


老健などの介護施設が対象となる患者が一定数います

■平成28年度療養病棟入院患者延数
(n=13,182)



■平成29年度療養病棟入院患者延数
(n=12,792)



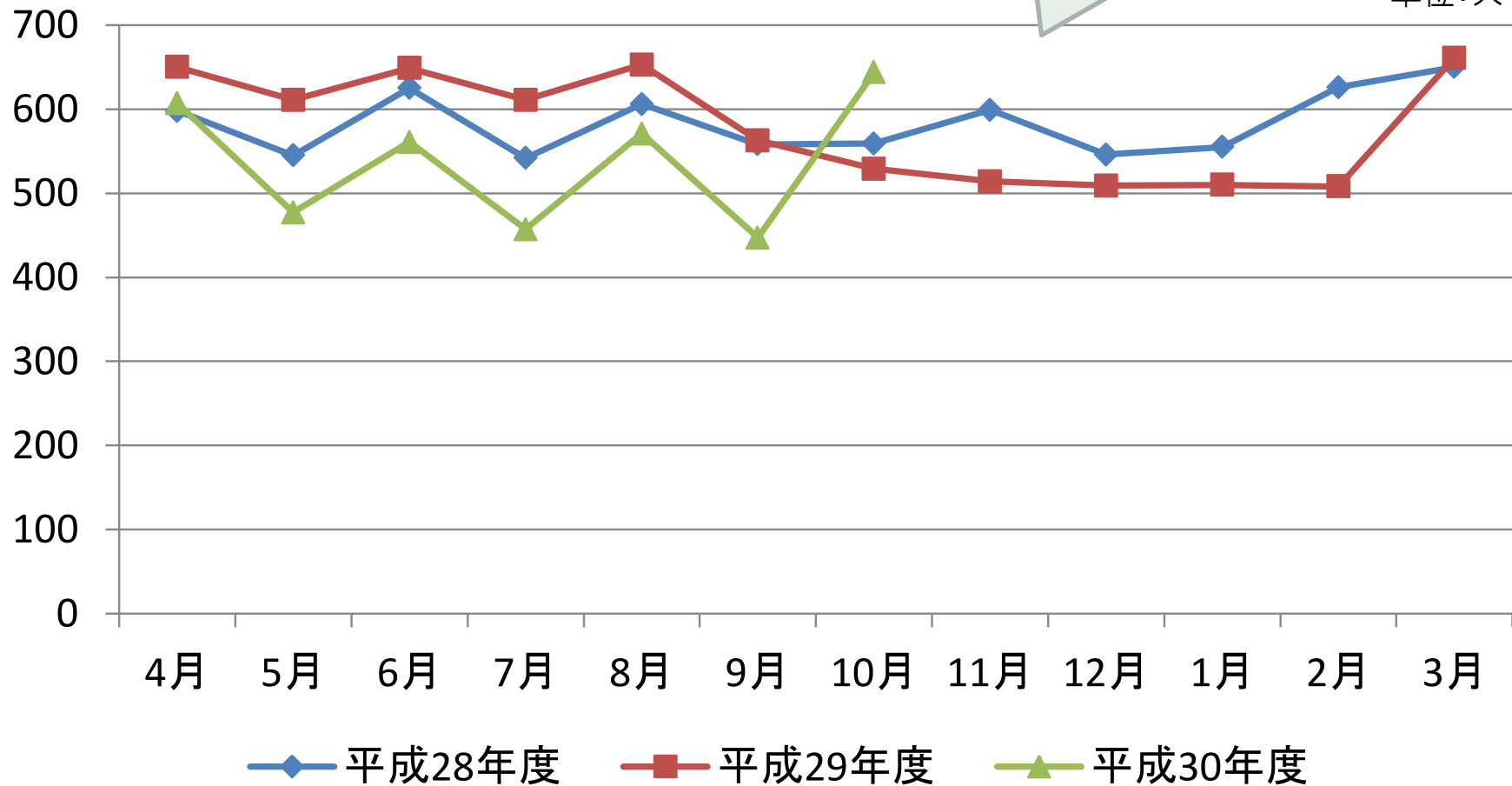
- 医療が必要な患者
- 医療が主ではなく介護施設が対象となる患者

4. 歯科部門の現状

歯科の外来患者数は毎年
減少傾向にあります

■ 歯科 患者数月次推移

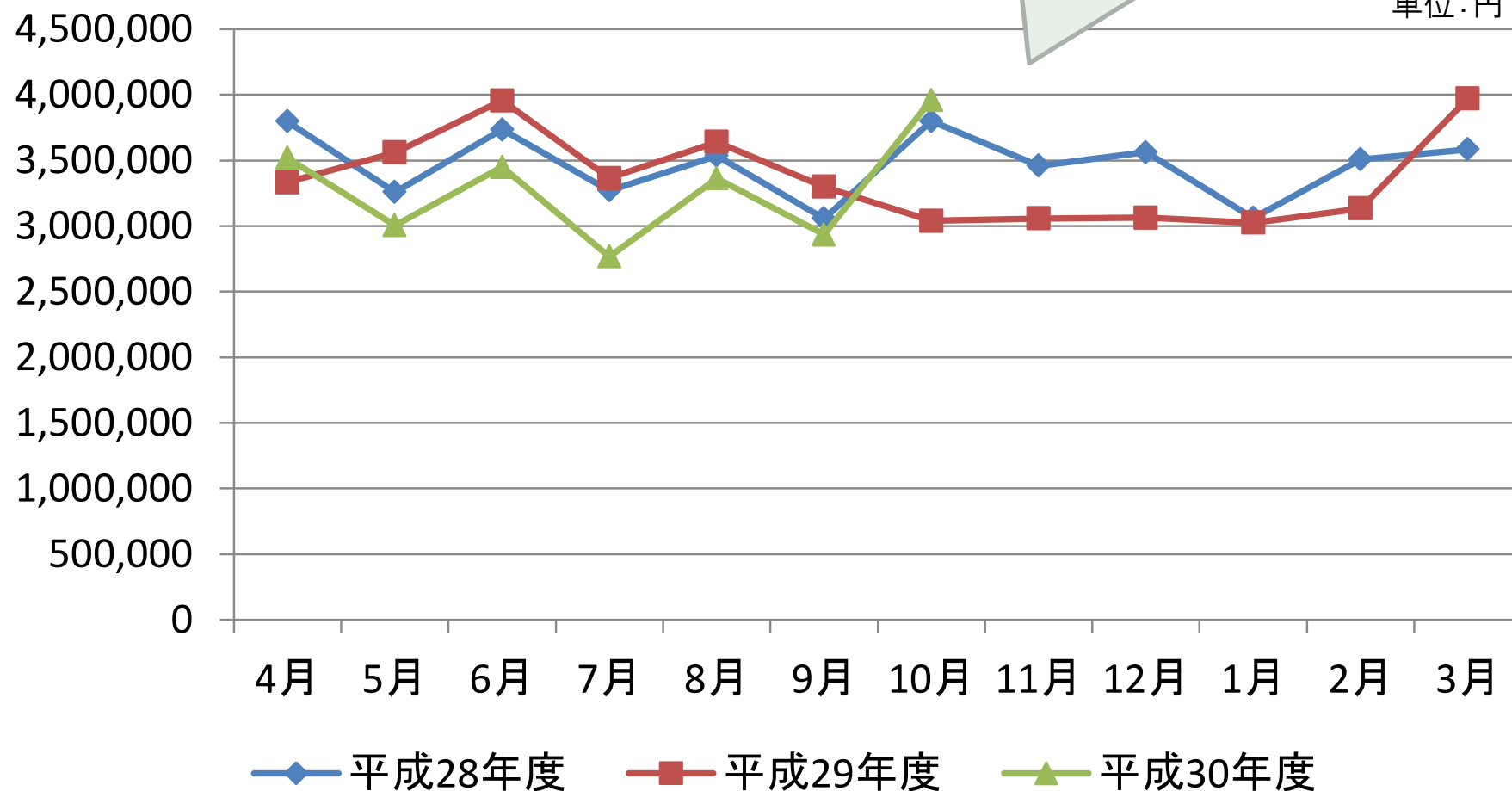
単位: 人

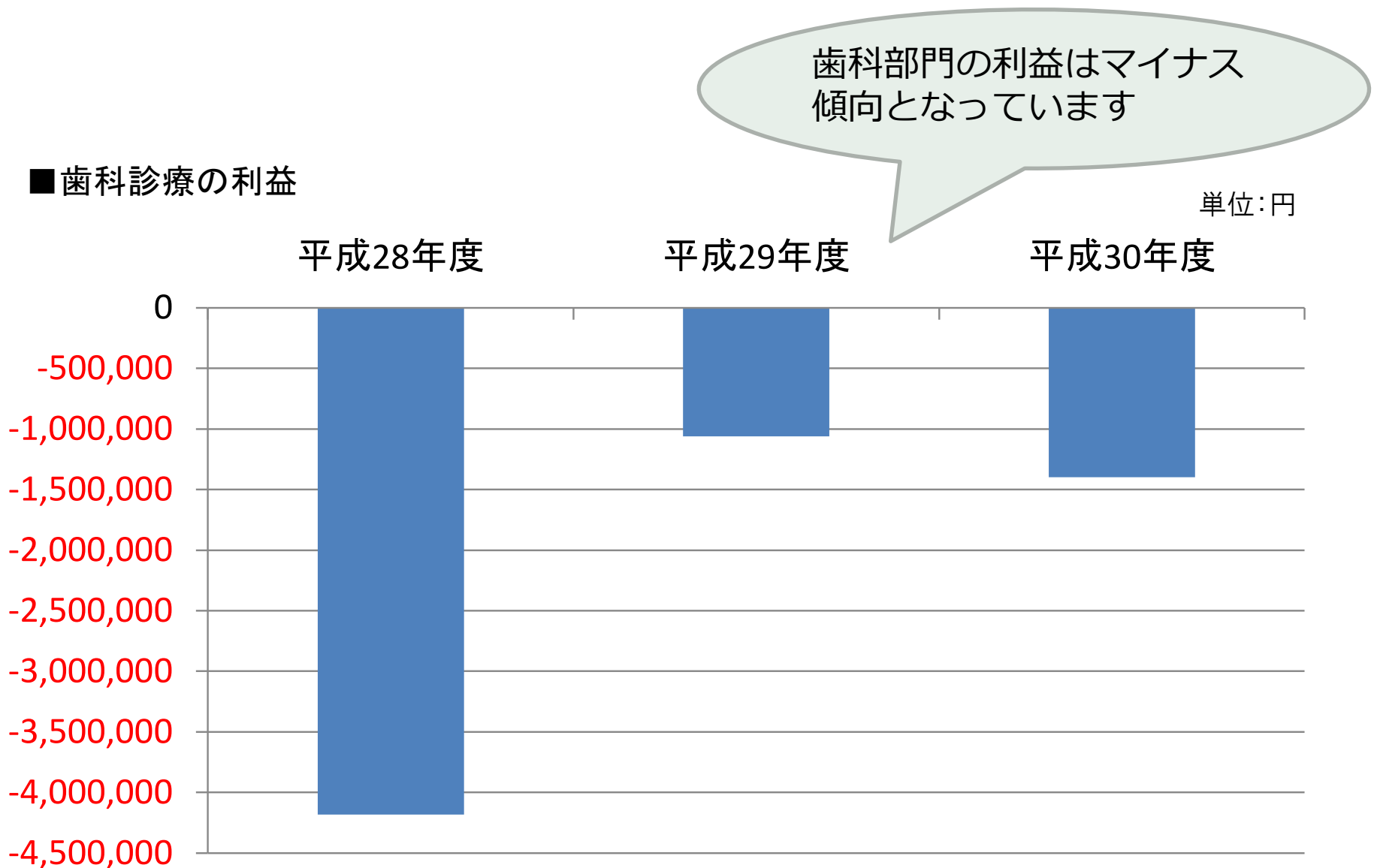


■ 歯科 収益月次推移

歯科の診療収益は毎年
減少傾向にあります

単位:円

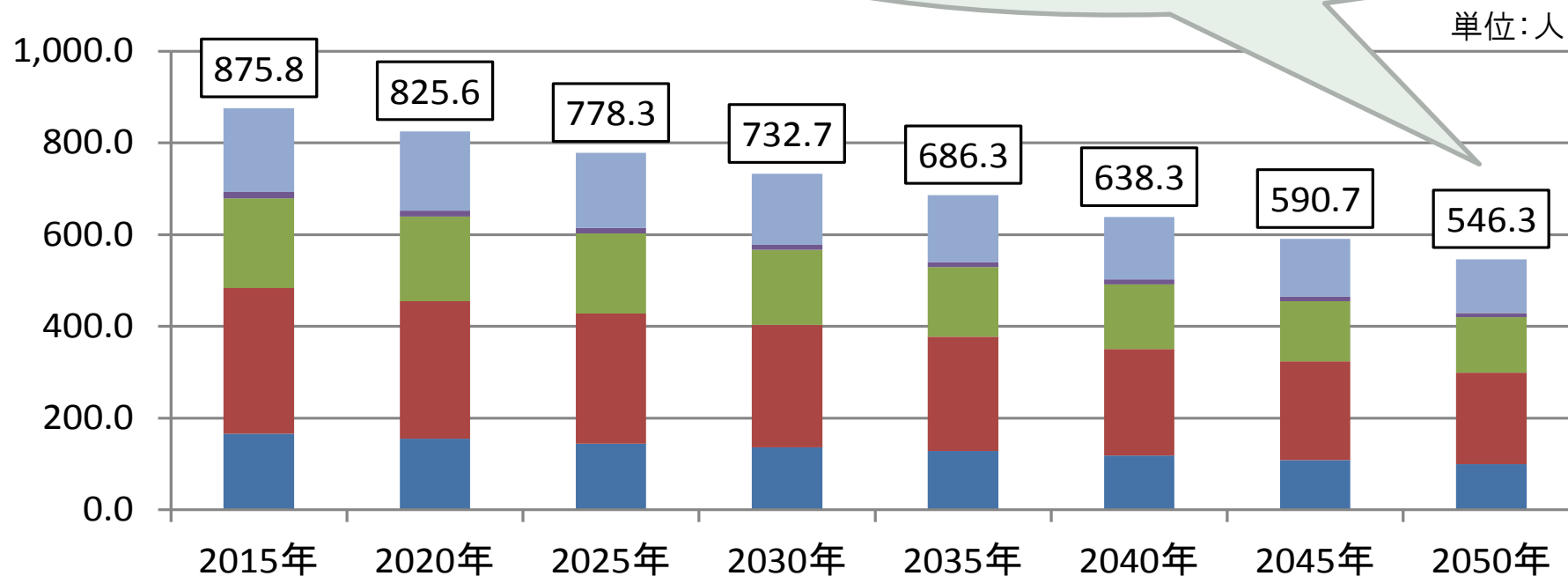




※平成30年度については、4月～10月の合計値

歯科の将来推計患者数は減少傾向となっています

■ 歯科将来推計患者数推移



■ う蝕

■ その他の歯及び歯の支持組織の障害

■ その他の口腔、唾液腺及び顎の疾患

■ 歯の補てつ

■ 歯肉炎及び歯周疾患

■ 口内炎及び関連疾患

■ 歯科診療所の外因による損傷

厚生労働省:「患者調査(平成26年度):推計患者数(患者住所地),性・年齢階級×傷病小分類×入院一外来・都道府県別(外来)」
および国立人口問題研究所「将来の男女5歳階級別推計人口(愛媛県宇和島市)」にて算出

5. 策定委員会による協議のまとめ

建物の老朽化・耐震基準の不適合により、中館と南館の使用ができなくなる

宇和島市・吉田町どちらにおいても人口が減少し続ける見込みである

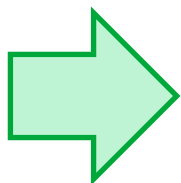
外来患者数は2050年には約半数になる

入院患者数は外来よりは緩やかだが、減少し続ける見込みである

眼科、耳鼻科などの専門外来の地域需要が高い

吉田町とその周辺地域における多様な入院需要を満たす必要がある

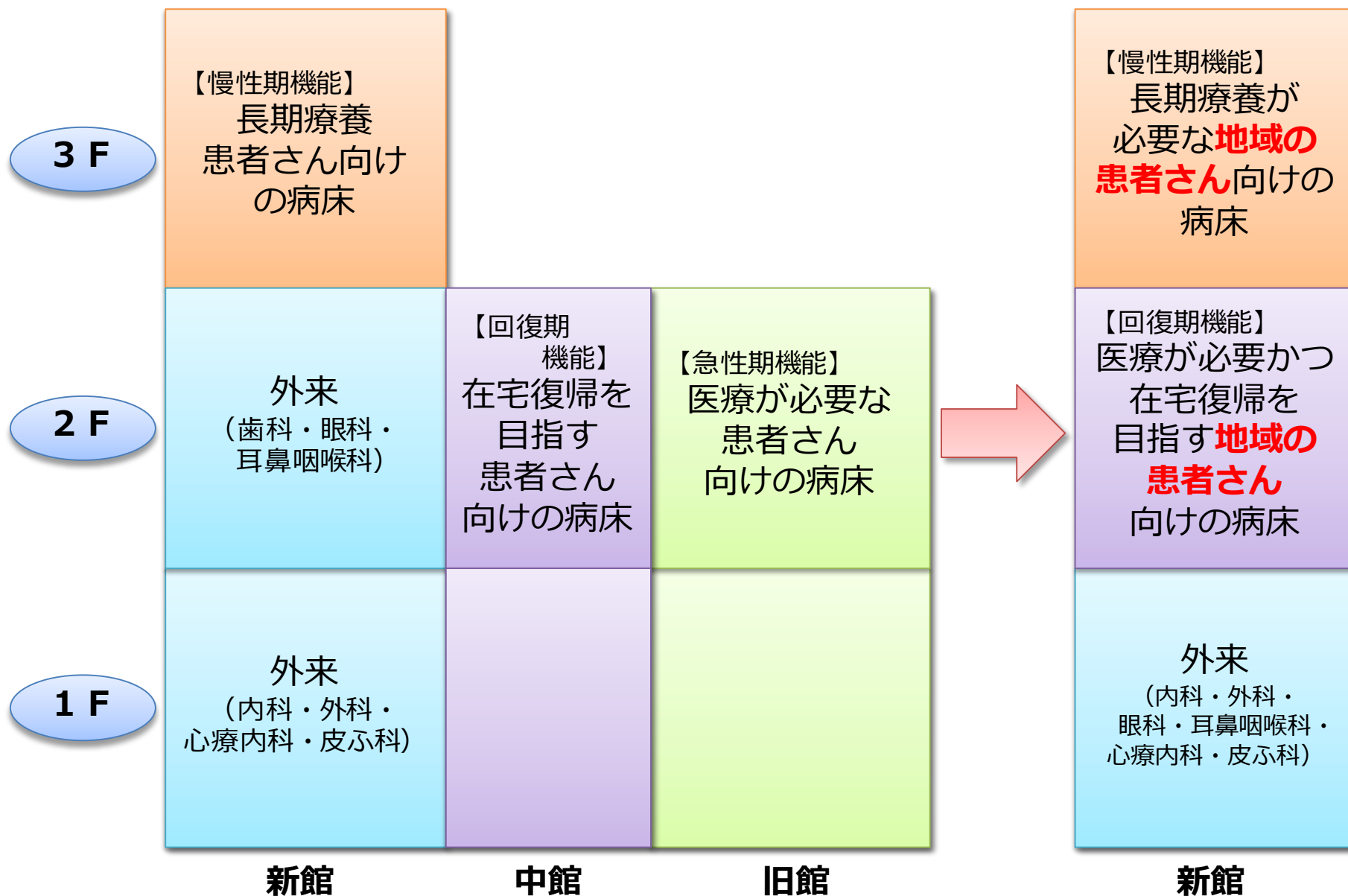
当院における歯科診療の地域需要は減りつつある



- ①新館に合わせた病院規模（病床数）の縮小
- ②歯科診療の廃止

6. 改築後の宇和島市立吉田病院イメージ





7. 収支の推移

■ 年次収支推移概観

単位: 千円

